

### 第33回法人会全国大会長崎大会の報告

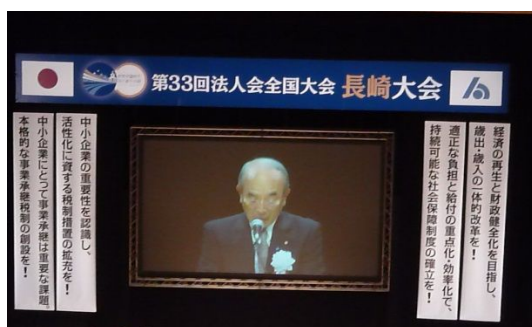
平成28年10月20日、第33回法人会全国大会が長崎市（長崎ブリックホール）で開催され、全国の法人会から約1,800名の方が参加されました。

第1部では、長崎総合科学大学教授のブライアン・バークガフニ氏により「地方が生き残るために」～長崎 その歴史 その魅力 その未来～ という演題で記念講演がありました。1950年カナダで生まれ、22歳に来日、臨済宗入門得度し京都妙心寺で禅の修行を32歳まで行い、その後長崎に移住しました。42歳で外国人では初の長崎県民表彰を受賞し、46歳で長崎総合科学大学の教授に就任しました。現在、大学で教鞭を取りながら、グラバー園ゆかりの人々の研究、長崎の歴史、文化を伝える活動などを行うとともに、グラバー園名誉園長、長崎国際文化協会顧問等を務め、日々前向きな発想をしているとの事です。

第2部の式典では全法連池田会長が主催者を代表して『新公益法人等への移行を契機に「税のオピニオンリーダーたる経営者の団体」として税制に関する建設的な提言や子供達への租税教育などをさらに積極的に展開する』と挨拶しました。その後「平成29年度税制改正に関する提言」の報告、広島南法人会青年部会による租税教育活動の事例発表が行われ、最後に、次回開催地である福井県連の清川会長が閉会の言葉を述べました。

第3部の懇親会では長崎伝統の蛇踊りで歓迎され、次回開催地の越前和紙の札袋をいただきました。

今大会の開催にあたり、毎日当たり前と思っていることに大きな価値があるので、見過ごさないで地に足をつけて、地元の活性化に我々組織も活動しなければと思いました。



### 平成29年度税制改正スローガン

- ・経済の再生と財政健全化を目指し、歳出・歳入の一体的改革を！
- ・適正な負担と給付の重点化・効率化で、持続可能な社会保障制度の確立を！
- ・中小企業の重要性を認識し、活性化に資する税制措置の拡充を！
- ・中小企業にとって事業承継は重要な課題。本格的な事業承継税制の創設を！